

むかいしま ゆた しそん い 『向島の豊かな自然と生きものたち』

だい 第38回 蜂が好き!?

こんちゅううきいしゅう たの ひと なか とく す かたたち
昆虫採集を楽しむ人たちの中には、特に「ハチ」が好きだという方達がいます。
ハチだけを採集しているわけじゃないのだそうだけど、身近な虫としてハチの生態観察や
しゃしんさつえい 写真撮影をしているのだそうです。

き いのち お かた
ハチに刺されれば命を落とす方もいるくらい、怖い怖いハチなのに…である。
し こと め さ こんちゅうがく べんきょう せんもんか かつやく せんせい
そんなハチを知る事に自覚め、昆虫学を勉強し、ハチの専門家になって活躍している先生
もいます。

さ とき つか どくぱり さんらんかん へんか
ハチが刺す時に使う「毒針」は産卵管が変化したものなのでメスだけが持ち、オスには無い
とうせん さ な ま つい まい はね も
ので当然オスハチは刺しません。ハチの仲間は2対(4枚)の翅を持っています。(アブは2枚)
こそだ しゃかいせいかつ か きせい こんちゅう な せいかつ しかた たよう とくちょう
子育て・社会生活・狩り・寄生など、昆虫の中でも生活の仕方が多様なのが特徴です。

ようちゅう とき しょくぶつしょく な ま
幼虫の時に植物食のキバチ・ハバチ・タマバチの仲間、

どうぶつ きせい な ま
動物に寄生するコバチ・ヒメバチ・セイボウの仲間、

はな みつ かふん た な ま
花の蜜や花粉を食べるミツバチなどハナバチの仲間、

か く な ま
狩りをして暮らすドロバチ・アリバチ・クモバチなどの仲間。

るい しゃかいせいかりばち よ な ま
その中でもスズメバチ類は「社会性狩蜂」と呼ばれています。

な ま わ で き しゃかいせいかりばち な ま
このように、ハチの中でもさらにグループに分けが出来、アリも「社会性狩蜂」の仲間なのです。

現在、昆虫の中で最も種類の多いグループは「甲虫(カブトムシなど)」で、次に「チョウ」→「ハエ」→「ハチ」の順ですが、調べが進むと「甲虫」の次が「ハチ」になるかもしれない。と考えられるくらい、ハチの種類が発見されいるそうです。

とくせい し りょう とき りょう
それぞれのハチの特性を知ると、ハナバチを利用してハチミツを探ったり、寄生バチを利用して
やさしいづく かいちゅう たいじ にんげん せいかつ おお やくだ こと
して野菜作りの害虫を退治したり…と人間の生活にも大きく役立てる事ができます。

おこ こわ はち か さいしゅう かんさつ じゅうぶん ちゅううい
それでもやはり、「怒ったら怖い蜂」に変わりはないので、採集や観察には充分な注意が必要です。

むかいしま ゆた しそん な か しゅるい むしちんたい かんが
向島の豊かな自然の中に、どれほどの種類のハチが飛んでいるのやら…また、虫全体を考えれば、いったいどれくらいの種類の虫たちが暮らしているのでしょうか？

るい こうげきせい つよ み まち
※スズメバチ類など攻撃性の強いハチから身を守るため、

ちか とく す はしょ きけん しげき
①むやみにハチに近づかない(特に巣のある場所は危険)、②ハチを刺激しない、

やがい かつどう はだ ろしゅつ ふくそう あだん き つ
③野外での活動は肌を露出した服装は避ける、など普段から気を付けたうえで、

かっぽつ じ き やがいかつどう とく ちゅううい
ハチが活発な時期の野外活動は特に注意してください。

はな とり こんちゅう うみべ あそ
花と鳥と昆虫と海辺に遊ぶ ~

つるかめクラブ